

## 令和3年度使用教科用図書調査に関する合同報告会議事録（第1日）

### 1 開会

### 2 開会あいさつ

### 3 協議事項

令和3年度使用中学校用教科用図書加印地区共同調査委員会からの報告及び質疑応答

#### (1) 国語

##### ① 班長からの報告

##### ② 質疑応答

委員：『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた工夫がなされているか。」が全部◎になっていますが、特に、教材の終わりに、その学習の進め方について、「学習の道しるべ」や「学習」などがあると思いますが、どこか特に使いやすい出版社はありますか。

班長：一番特徴的だったのは、教育出版は、教材の前についていたことです。賛否両論だったが、他の3社は教材の最後についています。自分は、子ども達にとっても授業者にとってもありがたいと思うのが、例えば、三省堂の1年のp.84の「読み方を学ぼう」の、小説を読むときの行動描写など行動が暗示する心情などが具体的に書いてあり、どのように学べばよいか、ということについて具体的に書かれているということが三省堂は特徴的でした。どのようにして勉強したらよいか分かりやすいのが、教育出版。教材の最初に書いてあったので、それを学んでから教材に移ることができます。

委員：「言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。」について、光村図書だけが○であとが△となっているが、差のところをもう少し具体的に教えていただきたい。今伺っていると、この教科書を使っているので主観的なところもあって、それが正しい情報かどうか、もう少し詳しくお願いします。

班長：2年生の類義語・対義語で、ページ数等を比べてみました。ただ単に類義語・対義語という概念を教えて言葉の意味を知ることだけにとどまっていなかったのが光村図書で、段階を踏んで学ぶ手立てがされていると見受けられました。光村図書を標準的と考え、他を△としたところがあります。

委員：それは学年を通してということですか。1・2・3年で、例えばどこかの出版社が凸凹だというわけではなく、他はみな同じ横並びでやや劣るということなのか、光村図書と比べてということなのか、一般的に考えてということですか。

班長：言語活動に関してすごく劣るということはありませんでした。類義語・対義語一つをとっても、その概念だけを教えるのか、使えるようにするのか、その流れです。

委員：どれも本当に素晴らしいと思いながら読ませていただいた。タブレットやスマホでYouTubeを見ることが増えている子どもが増えている中で、光村図

書の本屋大賞をとった「羊と鋼の森」が掲載されていたのを見て、読んでみてよかったです。わかりやすいアプローチの小説、自分自身が中学の頃はあまり読まなかったので、入り口になるような小説が、素人ながらにうれいと思いました。

委員：説明の中で、文学的な観点からの文章の題材についての偏りがあったということですが、題材としてこういうところが優れていたというところをもう少し詳しく教えてほしい。取り上げている文学的な材料が、どれが一番教えていくのに良かったということをお願いです。

班長：1年生がワクワクしながら学習できるのが「ちょっと立ち止まって」や、説明的な文章だが、「大根は大きな根」、「オツベルと象」などです。3年になって、「握手」や「故郷」など、ちょっと暗い感じの作品もあり、授業者としては、生徒の興味関心を高めるのに苦勞するというのが正直なところです。今回の教科書全体を見ますと、「蜘蛛の糸」や「トロッコ」などが導入され、幅広く読んでいけるのではないかと思います。

## (2) 国語（書写）

### ① 班長からの報告

### ② 質疑応答

委員：書写の教科書はどれも素晴らしいと思って見たが、現在の採択を3年前のHPで確認したら、光村図書・教育出版となっています。国語と書写は一体みたいな教科なので、同じ会社に統一した方が先生は教えやすいというか、そういうことはないのですか。それは大丈夫なのですか。

班長：大丈夫です。

委員：わかりました。

## (3) 社会（地理的分野）

### ① 班長からの報告

### ② 質疑応答

委員：質問が2点あります。内容の4「地図や統計などの諸資料を活用して、地理に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめることができるような工夫がなされているか。」のところで、日本文教出版は、雨温図の表記がないことで△となっていますが、◎となっている帝国書院はどこに表れていますか？

班長：帝国書院の◎は、雨温図によるものではなく、全般的に資料や写真が豊富で充実しており、グラフや図がカラフルで見やすく、生徒が自主的に学べる工夫が見られる点の評価しました。

委員：班長の説明を聞いて、帝国書院の資料は、全般的に写真が豊富でカラフルである点は共感します。

委員：SDGsについて帝国書院の見開きがよいとのことですが、世の中ではSDGsへの関心が高まっていますが、教育において指導要領ではどのように取り上げられているのですか？

班長：社会科においては、今始まったものではなく、これまでも自然や再生可能エネルギーについて、地理だけでなく歴史や公民でも取り上げられてきました。

委員：◎の評価については、見開きのインパクトによるものですか。

班長：そうです。

委員：学習指導要領との関連の③『知識及び技能』の習得と、『思考力・判断力・表現力等』の育成をバランスよく図るための工夫がされているかの観点において、帝国書院の◎は確かに理解できます。一方で、東京書籍においても、まとめにおいて工夫がなされているように思いますが、◎と○との印象のちがいについてはどうですか。

班長：調査員6名の思いを総合的に判断しました。

委員：国土について例えば「尖閣諸島」の記載のちがいについて、話し合いではどのような意見が出ましたか？

班長：話し合いの中で出た意見は、東京書籍であれば p.25 のようにわかりやすく生徒に理解させやすい。それぞれ教科書によって表現が違うが、尖閣諸島については日本の領土という考えで統一されています。表記の仕方については、東京書籍の p.25 がわかりやすい。

委員：現行では日本文教出版を使っていると聞きましたが、報告書を見ると帝国書院や東京書籍の方がよりよくなったように思えますが、その点、どうですか。

班長：現在のもので以前のものと比べているわけではございません。また、他社のものとの比較をしているわけでもなく、一冊一冊ごとに判断しました。

#### (4) 社会（歴史的分野）

##### ① 班長からの報告

##### ② 質疑応答

委員：資料・写真が豊富で資料集などを購入しなくても十分だと感じました。帝国書院だけが精選され無駄な部分が見当たらないとありますが、江戸時代から読むと、東京書籍・帝国書院ともほぼ同じ文書・資料です。全体的に見てどのような評価でしたか。

班長：精選されているかどうかについては、授業で使いたい資料かどうかということになります。

委員：山川出版は、高校の歴史教科書で、中学生には難しいと思われます。

班長：中学校の授業の方が、小学校より内容が多くなります。小学校で学んだ情報量の上に、山川出版の教科書は情報量が多すぎると思いました。

委員：育鵬社の教科書について、関東大震災の時にデマが流され、韓国人の方が殺害されたことに触れられていないとありますが、どうしてですか。

班長：出版社の考え方によると思われますが、わかっている事実を伝えないのはどうなのかという意見がありました。他の教科書は、人権問題に特化した形で取り上げていますが、育鵬社は記述がないという意見が出されました。

委員：「我が国は」という表現が育鵬社のところで問題だとありますが、報告書様式2の内容項目の2に「我が国の歴史に対する愛情・・・」とあります。学

- 習指導要領にも同じ内容のものがありますが、どのあたりが問題なのですか。
- 班長：小学校では、「日本は」という形で表現されることが多く、育鵬社だけが「我が国は」になっています。グローバル化が進む現代社会においては、多くの国の方が日本で暮らしており、その生徒たちが、学ぶときに「我が国は」という表現より、「日本は」という客観的な表現の方がよいのではないかという意見がでました。
- 委員：様式2の項目の中に「我が国の歴史に対する愛情・・・」は、日本人としての愛情とか誇りを育む視点で書かれているもので、「我が国」という表現は問題がないと考えます。「言語活動」という定義とはどのようなものですか。学習指導要領との関連の中で、「言語活動の定着」に関して帝国書院に◎がついていますが、これに関する説明が、各章末に「確認しよう」「説明しよう」が設定されており非常にわかりやすいとあります。育鵬社にも、まとめがあるにも関わらず、どうして△が付いているのですか。
- 班長：表現が、「書きましょう」「抜き出しましょう」というもので、友だちと「話し合ってみましょう」という表現の方がよいのではないかという意見が出たためです。
- 委員：1つの出版社に△が、たくさんついているように感じました。調査報告の「p.201の13行目からの説明が生徒にとっては難しい内容と感じる」とありますが、わかりやすいものだと思います。韓国とは政治的に難しい問題がありますが、事実を学び自虐的な考えを持たず、愛着を持った視点ですべての教科書を読んでも、育鵬社のp.201の説明は非常によいものだと思います。報告書には真逆の意見がありましたが、どのような意見が出されたのですか。
- 班長：難しいと感じたのは、「欧米列強にも、朝鮮半島の問題で日本に干渉する意図はありませんでした」というところで、日本は悪いのではなく他の国も認めているように取られてしまうのではないか。歴史を学んだあと、事実をどのようにしてとらえるか、それを生徒たちがどのように判断をするのかが大切だと考えます。
- 委員：自分の国に愛情を持つことを大切にするならば、マイナスなイメージを持つように他の教科書は書かれています。育鵬社の記述に関しては、オブラートに包んだ表現をしています。事実としては、韓国を併合し、台湾の植民地化があり、欧米列強が行った搾取の植民地政策と、インフラと人命に投資した日本の政策が親日感情を作り上げたことを大きな視点でとらえていただきたい。
- 委員：帝国書院だけが、様式2の2「我が国の歴史と関連・・・」の項目で◎がついているのはどうしてですか。
- 班長：帝国書院のp.171に、解放令に関する記述があり、多くの人権問題が取り上げられています。差別問題に対して、多くの人たちが努力してきたことに触れ、次は自分たちがつないでいかなければいけないことを考えさせることができるためです。

委員：平和とか人権などの取扱いで、沖縄戦に関する意見は出されましたか。

班長：特に意見はなかったです。

#### (5) 社会（公民的分野）

##### ① 班長よりの報告

##### ② 質疑応答

委員：（育鵬社について）保護者としては、従軍慰安婦や拉致問題についても、可能な限り情報を出してもらい、子どもたちにはそこから考えるような取組をしてもらいたい。

班長：どのような資料、情報を生徒に正確に伝えていくのかについては、調査員でも考えさせられたところでは、その点においては、資料や写真は影響が大きい。それぞれの教科書において良し悪しがあるため、その点には十分に配慮して決めていく必要があります。

委員：9項目において、全て○ばかりで、優劣が付くような項目は無かったのかと感じます。内容の4「情報通信」について、自由社や育鵬社はICTの活用が無い△なのは理解できますが、残りの4社についてQRコードの先の内容について差があります。東京書籍や帝国書院については、リンク先の内容が充実しており、◎を付けてよいものだと考えますが、他の2社については粗末な内容であり、工夫がなされているとは言い難いと思います。2については、意見は出なかったのですか。

班長：様式2については、それぞれの調査員の意見を聞き集約した結果です。◎や△については、ほぼ全ての調査員が同じように感じたものですが、○については、意見が分かれた項目でもあります。

#### (6) 社会（地図）

班長からの報告

#### (7) 音楽（一般）

##### ① 班長からの報告

##### ② 質疑応答

委員：鑑賞曲が豊富ですが、鑑賞のポイントを具体的に教えてほしい。

班長：教育出版は、情報量が多すぎます。どちらの出版社もボレロという曲を載せていますが、作曲家のラベルの解釈が違います。教育芸術社の展覧会の絵の流れの方がスムーズです。

委員：「魔王」については、歌詞を横書きにしている見やすいと思いますが、どのような意見がありました。

班長：「魔王」は、歌詞の訳が少し違っています。写真や人物のおいたちや「夜風をついて」から始まる出だしの言葉を比較すると教育芸術社の方が訳してあるものと説明とのつながりがスムーズであると感じました。

(8) 音楽（器楽）

班長からの報告

(9) 保健体育

① 班長からの報告

② 質疑応答

委員：様式2「構成・分量」において、学研教育みらいだけが○で、その他が△となっています。様式1の学研教育みらいの「構成・分量」に関する報告内容を見ますと、「精選する必要がある」「使いにくい」という記述があります。この違いについて説明してください。

班長：調査部会で意見を出し合い、トータル的に判断した結果です。

委員：様式2「構成・分量」において、学研教育みらい以外の教科書会社については、△のイメージを受けませんでした。学研教育みらいが◎、その他が○でよかったのではないですか。

班長：意見を出し合った際、三者三様の意見が出ました。その中で、見やすさや説明文の内容に重点を置いて判断した結果です。

委員：様式2「学習指導要領との関連」の『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた工夫がなされているかについて、東京書籍の「見つける→学習課題→課題の解決→広げる」という学習の流れは引き込まれるような内容で学びやすいと感じたので、◎になっているのはよくわかりますが、他の教科書会社の○との違いを教えてください。逆に、東京書籍は、「構成・分量」「表記・表現」において△があります。どちらに重きを置いて調査や話し合いを行ったかということがあれば、教えてください。

班長：関連させた評価というものはありませんでした。どの教科書会社も、「主体的・対話的で深い学び」という大きなテーマを重点において作成していますが、その中で東京書籍が最も分かりやすく、話し合い活動があり、課題が明確になっていました。

委員：様式2の『知識及び技能』の習得と『思考力・判断力・表現力等』の育成をバランスよく図るための工夫がされているかで、どの教科書会社も○になっていましたが、様式1の学研教育みらいの報告内容では「思考・判断・表現力を養うことができるよう配慮されている」という記述があります。その差はどこにあるのですか。

班長：調査部会の中で、学研教育みらいについては◎までに至らないという評価になり、あまり差のない評価になりました。

4 連絡事項

5 閉会